

納期相談 企画力自信有

株式会社 ヒラカワガイダム

# 次世代省エネボイラを開発 世界初『デモセンター』で ボイラの更なる用途開発を

燃焼ガスに含まれるH<sub>2</sub>Oの凝縮熱を利用した超高効率な温水器

## 潜熱回収温水器

UltraGas® Series  
UG350・UG500・UG720 [ガス専焼]



## 木質バイオマスボイラ PYROT

省エネ・エコを実現。潜熱回収温水器「UltraGas」、木質バイオマスボイラ「PYROT」

創業以来培われた開発力  
ボイラ、專業にこだわり  
ボイラを深く追求

明治45年創業の老舗ボイラメーカーであるヒラカワガイダム。日本初の『煙筒煙管式ボイラ』を開発する等、当初から定評のあるその開発力、技術力の源とはなんだろうか？

「それは、日本が抱える成長の歴史と常に対峙してきたから」と平川社長は語る。資源が乏しい日本において、創業当時のボイラ用エネルギーは、廃棄寸前の木炭や油。しかしやがて、それらが起因となる公害問題に直面することとなった。同社は、公害を出さないクリーンなボイラ開発に注力。さらに、バブル期には土地の有効活用が進んだことで、狭い土地に設置できるコンパクトなボイラが求められるようになった。このように、常に時代に与えられた課題にチャレンジしてきたのだ。

そして現在は、ソーラーやバイオガス等ボイラでは未利用の自然エネルギー等を活用し、熱効率105%、燃料コスト、排出CO<sub>2</sub>を20〜30%低減させた潜熱回収温水器等のエコ製品を展開。環境、省エネルギー化に取り組んでいる。

同社のこだわりは、ボイラ、專業メーカーであること。「長いものだと50年は使用できるボイラは、長い年月をトータルでサポートしていかなければ本当の信頼を得られない。ボイラ以外の製品を手掛けることでボイラを中途半端にするくらいなら、もつとボイラを深く追求していきたい」という平川社長の言葉に、強い理想が窺える。

世界に広がるアライアンス  
『デモセンター』創設で  
さらなる進化をめざす

同社が特に得意とするのは、産業用、空調用ボイラだ。製品自体は工場を組み立て、現場での設置工程を省力化することで、コスト削減を図っている。

また、各国のボイラメーカーが長年蓄積し習熟させてきた技術に着目。想いを共有する欧州5社、米国1社とアライアンスを結び、互いの有効技術を交わすことでともに発展していくことをめざす。これが、ボイラ業界ナンバーワン製品を生む強みともなっている。

常に挑戦を続ける同社が今、新たに取り組むのがボイラの試運転を可能にした、世界初『ボイラ技術開発センター』(デモセンター)だ。例えば食品メーカーが求める味が出せるか、これまでのカタログや図面だけでは証明できなかったが、このデモセンターの活用で、それを可能にした。同施設により、ボイラの可能性は広がりを見せ、新しい食材、食品のニーズが生まれている。



滋賀事業所内に開設した『ボイラ技術開発センター』。お客様の更なるニーズに応える

汎用品を受注生産するだけのメーカーではなく、ソリューション型メーカーへと変革しつつあるヒラカワガイダム。他社が真似できない、顧客ニーズを実現できる企業として更に進化中だ。

### Company Profile

株式会社ヒラカワガイダム

ISO 14001 開通22  
ISO 9001

住所 〒531-0077  
大阪市北区大淀北1-9-36  
TEL 06-6458-8687  
FAX 06-6458-8691  
創業 明治45年4月1日  
資本金 9,000万円  
従業員 246名  
代表取締役社長 平川 晋一

■主な事業内容  
ボイラおよび周辺機器の製造・販売、メンテナンス  
■主な取引先  
建築設備会社 等

<http://www.hirakawag.co.jp>

他社には負けない

当社のものづくり  
セールスポイント



「本当に信頼できる会社だ」  
そう言っただけの会社をめざして

代表取締役社長 平川 晋一 さん

私達の社是は、「信頼される会社」「信頼される人間」「信頼される製品」。お客様の立場にたち、お客様が本当に何を望んでいらっしゃるのかを考えることが創業以来の精神です。これからも、お客様のニーズをいち早くキャッチし、社員全員で取り組んでいきたいと思っています。